

IT経営カンファレンス2019 開催組織の募集について

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

2019年5月14日

1.IT経営カンファレンスについて

IT経営カンファレンスは、各地域におけるITCの顧客開拓への取り組みを支援する目的で行い、地域のITC届出組織が主催し、ITコーディネータ協会が共催します。

2018年度は全国10地域で724名の来場者がありました。

	地域	開催日	テーマ	備考
1	福岡	2018年7月28日	AI・IoTで変わる小売業！マーケティング革命	来場者：74名
2	釧路	2018年10月24日	～IoT活用による道東観光のイノベーション～	来場者：77名
3	新潟	2018年12月13日	AI・IoT・VRで人手不足に立ち向かう	来場者：174名
4	山口	2019年1月16日	～IoT・ITで企業・地域を元気に～	来場者：46名
5	兵庫	2019年1月29日	～デジタル化、繋がる時代の中小企業経営～	来場者：52名
6	長野	2019年2月15日	～AI（人工知能）は経営にどう生かせるか？～	来場者：53名
7	富山	2019年2月15日	ITを経営に活かす	来場者：131名
8	石川	2019年2月20日	～AI・IoT・RPAデータ利活用によるIT経営のヒントを学ぶ～	来場者：62名
9	宮城	2019年2月22日	地域活性化のためのICT	来場者：36名
10	愛知	2019年3月12日	IT・IoT・AIを活用してIT経営を实践、新しい取り組みに挑戦しよう	来場者：72名

ITコーディネータ協会としても開催継続による「支援機関連携によるITCの顧客開拓」に効果があると考え、今年度もITCのビジネスの場の拡大の一環として、「IT経営カンファレンス」を継続開催することにいたしました。

開催を希望される意欲あるITC届出組織の皆さんのご応募をお待ちしています。

※2018年度開催レポートはこちら <https://www.itc.or.jp/society/activity/confe/it2018.html>

2.IT経営カンファレンス開催要項①

1. 名称：「IT経営カンファレンス2019 in ○○」（○○は地域名）
2. 主催者：地域のITC届出組織（複数組織の合同体も可）
3. 共催：特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会
4. 実行委員長：開催地ITC届出組織代表者
5. 後援団体（例）：各地域経済産業局、地方自治体、地域支援機関、商工団体、地域金融機関、メディア各社等と積極的に連携推進をお願いします
例えば各地域の企業を有償スポンサーとして、費用を運営費に繰り入れることも可能です。
ITCAから信金中央金庫を通じ、各地域の信用金庫に対して後援を依頼することは可能です。
ご要望の際にはご連絡ください。
6. 開催趣旨：
【ITCのビジネスの場の拡大と実践力の強化・支援機関連携・ITCの認知度向上】
 - ・ 中小企業経営者にITC届出組織とITCの活動を知っていただく
 - ・ 地域の中小企業団体、支援機関、金融機関等とITC届出組織との関係を強める
 - ・ 地域におけるITCと中小企業のビジネスマッチングの場
 - ・ イベントで終わりではなく、その後の経営者支援、支援機関や商工団体との連携強化

※参考）機関誌トピックスにその後のビジネス活動報告が掲載されています。

7. プログラム構成

- ・ITCの顧客開拓に直接・間接的に効果のある、特徴あるプログラム構成であること。
- ・中小企業経営者、支援機関、金融機関等に、ITC届出組織とITC活動を知っていただくためのプログラム設定をお願いします。
- ・ご希望の届出組織には、協会からプログラム作成のお手伝いをいたします。

「構成（例）」

13：00～17：00（4時間）

- 1) 主催者挨拶：ITC届出組織実行委員長（10分）
- 2) 来賓ご挨拶：地域経済産業局（50分）
- 3) 基調講演：経営者、支援機関関係者の参加を促進する著名な方（60分）
- 4) 成功事例紹介：企業経営者によるIT経営実践事例（経営者&ITC）（50分）
- 5) 地域における連携事例（50分）
支援機関、金融機関等との連携事例、支援策活用事例（経営者&支援機関&ITC）
- 6) 共催者挨拶：ITコーディネータ協会（5分）

※終了後、ITCが招待客、参加経営者と名刺交換ができる「交流会」のセット（任意）

◆2020年度の「ITC Conference」にて「ITを経営の力としている」企業及び、支援事例の表彰制度を検討しております。それに伴い、今年度の「IT経営カンファレンス」でも、地域における「ITを経営の力としている」企業のITC支援事例を発掘、公開いただけると大変参考になりますので、可能な範囲でプログラムに組み込んでいただけると幸いです。

2.IT経営カンファレンス開催要項③

8. 集客対象

地域の中小企業経営者及び地元支援機関、金融機関、諸団体等の方（招待者）

※参加見込みの半数以上を中小企業経営者及び地元支援機関、関係諸団体の方で構成できることが望ましい

9. 集客活動：地域中小企業経営者の集客人数目標を設定し組織的に推進してください。

（後援団体、商工団体、金融機関等との連携、チラシ作成、ニュースリリース等）

10.参加費用等（例）

1) 招待者 = 無料

2) ITC = 2時間1ポイントの主催研修知識ポイント対象

・招待者（経営者）を優先してください。

・ITCが有料の場合（無料設定も可）、収入は運営費に繰り入れてください。

11.ITコーディネータ協会からの開催支援

1)1開催あたり20万円（税込）以内

開催支援金については、主に講師謝金・会場費用・広報費用等でご活用ください。

※ITCAスポンサー企業の講演枠をプログラムに入れていただいた場合には、スポンサー費として、支援金に5万円をプラスいたします。

スポンサー企業についてはP.7をご確認ください。

2)プログラム作成

3)広報

4)会場でのITC関連配布物（チラシ等）・広報ツールの提供

12.応募方法および選定ポイント

募集数：2019年度は8～10か所を想定

応募方法：別紙の実行計画書兼応募概要に記入して、担当へご提出ください

◆選考の参考とさせていただきますので、実行計画書には、見込み参加者数や、支援機関・参加者へのフォローアップなどの計画をなるべく詳細にご記入ください

募集期間：2019年5月17日（金）～ 6月28日（金）

開催決定：2019年6月中旬より、順次決定

選定ポイント：地域性と実行計画書兼応募概要の企画内容等を考慮して決定します

応募者多数の場合は、お断りする場合がございますので、ご了承ください

※開催が決定した届出組織には個別にご連絡し、協会ホームページ上で開催の広報をいたします

13.開催報告

開催後、収支報告を含む実施報告書を提出していただきます。

ITコーディネータ協会への実施報告書その他、後援団体向けの報告書を作成し、開催後の活動に活用願います。

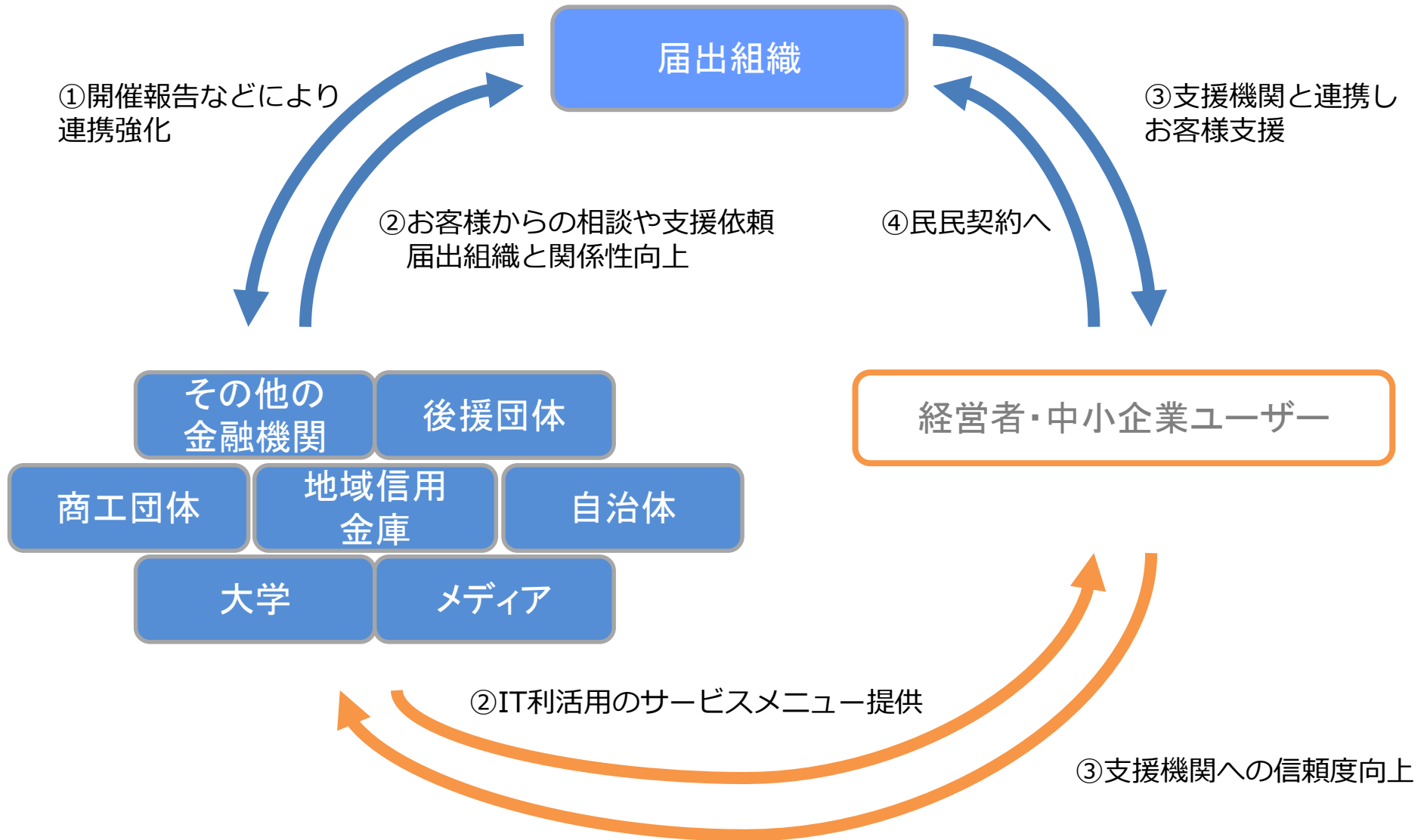
ITコーディネータ協会が実施するアンケート、ヒアリング等にご協力いただきます。

14.開催前後の活動

目指す目標（顧客獲得）達成のため「交流会」セット、参加者アンケートの実施、経営者・支援機関のフォローアップの実行をお願いします

開催日の前後に弊協会理事・協会職員と共に、主要後援団体などへご挨拶に伺うことも可能です。積極的にご活用ください。

その後のビジネス連携イメージ



スポンサー様の提供コンテンツにつきましては、
2019年スポンサーが決定し次第公開させていただきます。

6月頃公開予定です。

※現時点では、株式会社セールスフォース・ドットコム様にご講演いただけます。
希望の講演テーマなどございましたら、事前にお知らせいただければ調整可能です。
また、ブース出展など検討されている場合も出展が可能ですので、ご検討ください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	公募期間		第1期 開催期間					第2期 開催期間			
	開催地域決定										

11月15-16日がITCカンファレンスのため、
11月中旬の対応ができません

3.運用ガイド①

★開催までになるべく早くご提出いただきたいもの

- ・開催決定後、提出いただきました「実行計画書」で、未確定のものをご提出ください。特に開催日と開催場所は早めのご連絡ください。
- ・集客に向けてのチラシ（協会ホームページに掲載します）
- ・開催詳細が掲載されているホームページURL（必須ではありません）
- ・協会役員、職員への講演を希望される場合は、別途依頼書をお送りください。フォーム等はお手持ちのもので結構です。（メールでの依頼も可）

記載していただきたい事： ■開催日時 ■開催場所 ■講演依頼テーマ、内容
■講演時間 ■当日のプログラム（他の講演者が分かるもの）

※個人に直接の依頼ではなく、必ず広報へご依頼いただけますようお願いいたします。

1. 参加ITコーディネータの実践力ポイントについて

- ・ITコーディネータ協会の後援セミナー扱い2時間1ポイント相当（上限無し）になります。
- ・受講証明書は各主催組織が準備、発行してください。（入力各個人になります）

2. 開催支援費用の精算について

- ・基本的に各組織で支払いをしていただき、カンファレンス終了後に精算となります。（事前の立替払いも可能です、必要な時にはお申し出ください）
- ・請求書（雛型は特にありません）を協会宛ご送付ください。
- ・支払いに関する証明書が必要になります。
領収書や謝金等の振込記録を証明書として必ずご提出いただきます
（場合によってはコピー可）ので、大切に保管しておいてください。

※近年、帳票のご提出が不十分な場合がございます。特に講師謝金のお支払いについては、なるべく請求書でご対応いただき、手渡し等の場合は必ず領収証の発行をお願いいたします。

3.運用ガイド②

3. 広報について

- ・ 次の方法で広報をいたします。
協会ホームページにて開催案内を出します。
ご参考（2018年度） <https://www.itc.or.jp/society/activity/confe/it2018.html>

ITCAメルマガ「創新」にて開催案内を行います。

- ・ 次のものをご提出ください。
開催チラシ（協会ホームページに掲載します）。
Webからの申し込みがあればURLをお知らせください（協会HPとリンクいたします）。

4. カンファレンス終了後の提出物

- ・ 終了後、「実施報告書」「収支報告書（証明書含む）」の提出をお願いします。
（雛型はお送りします）
- ・ 「開催支援費用請求書」の提出をお願いします。（フォームフリーです）

5. フォローについて

- ・ カンファレンスで終わることなく継続活動をされている確認をいたします。
ビジネス獲得に向けたフォロー活動報告書をご提出いただきます。
- ・ 機関誌「架け橋」にて活動状況をレポートしていただきます（必須）。

追加やご質問いただいた項目は、随時追加して皆さまにお知らせいたします。

参考：昨年度の基調講演一覧

開催主体	講演テーマ	講演企業・組織
福岡ITコーディネータ推進協議会	Retail-AI活用でデジタルトランスフォーメーションに挑戦	株式会社トライアルホールディングス
北海道ITコーディネータ協議会	Bebotでガイドブックを超える観光体験を実施	株式会社ビースポーク
ITC新潟	中小企業だからこそ知っておくべき “AI・IoT・VRの今とこれから”	日本マイクロソフト株式会社
アイティコーディネータ山口協同組合	山口県におけるIoTの推進	山口県IoT推進ラボ
ITC近畿会	デジタルトランスフォーメーション時代のIT経営	ソフトバンク株式会社
長野県ITコーディネータ協議会	ITを経営にいかすということ	ITコーディネータ協会
ITコーディネータ富山	ディズニー、NASAが認めた遊ぶ鉄工所	HILL TOP株式会社
石川県情報化支援協会	ITを活用したデータ分析型経営	株式会社サンエー精機
みちのくIT経営支援センター	クラウドを活用したはたらき方改革3つのポイント	株式会社サーバーワークス
ITC中部	中小企業のデジタルトランスフォーメーション	一般社団法人クラウドサービス推進機構

各会場で特色のある基調講演がなされておりました。また、どの会場においても地元の企業様の成功事例講演があり、とても参考になる好事例のご講演頂きました。

2019年度開催ポイント

1. 継続開催により認知度向上

昨年度開催した10か所において、7か所が継続して開催をしております。継続して実施することで、認知度の向上を狙い、実施報告書にもその成果が上がったとの記載がありました。

また、継続開催による地元届出組織の認知度向上により、集客にも繋がり、どちらも盛会のうちに終了しております。

2. 開催数/参加人数

開催数 10箇所 参加人数 724名 で開催

3. 地域によっては、参加者を「IT導入補助金」のセミナー相談会にご案内し、補助金申請や働き方改革の支援に繋がった。等のご報告をいただきました。

また、IoTセミナーなどを継続的に参加者へ案内することにより、組織への相談が増えてきている。とのご報告もいただいております。

本件に関するお問い合わせは、
ITコーディネータ協会 広報担当
までお願いいたします。
Mail:kouhou.itc.2007@itc.or.jp



**ITコーディネータはIT経営を実現する
プロフェッショナルです**